

## 西洋中世学会 第14回大会プログラム

2022年6月18日(土)・19日(日)

立教大学 池袋キャンパス\*

\*自由論題報告およびシンポジウムはオンライン参加あり

### 6月18日(土)

10:00~12:00 常任委員会 (太刀川記念館1階会議室)

12:00 受付開始 (太刀川記念館1階ロビー)

13:00~14:00 総会(会員のみ) (太刀川記念館3階多目的ホール)

**14:00~18:00 自由論題報告** (太刀川記念館3階多目的ホール) 【オンライン配信あり】  
(別資料「自由論題報告要旨」参照)

14:00~14:45 井上 果歩 (サウサンプトン大学/東京藝術大学) 司会: 宮崎 晴代 (武蔵野音楽大学)  
アルス・アンティクア期におけるリガトゥーラの機能: 理論と記譜の観点から

14:45~15:30 上遠野 翔 (東京大学大学院) 司会: 石田 隆太 (同志社大学)  
「神学は学知か」—ヘルヴァエウス・ナターリスによる神学の厳密化をめぐって

15:30~16:15 大杉 千尋 (日本大学芸術研究所) 司会: 田辺 幹之助 (東京藝術大学)  
グリュエネヴァルト〈イーゼンハイム祭壇画〉《受胎告知》について: ブルゴ  
ーニュ宮廷との関連から

16:15~16:30 休憩

16:30~17:15 白川 太郎 (早稲田大学) 司会: 青谷 秀紀 (明治大学)  
過ぎ去らない中世—近代イタリア王国の知識人による宗教史叙述と「異端者」  
の再発見

17:15~18:00 Mitchell Simpson (University of Arkansas) 司会: 有光 秀行 (東北大学)  
Irish and Muslim Contact in Otherworld Narratives: W(h)ither the Boundaries

### 6月19日(日)

9:00 受付開始 (太刀川記念館1階ロビー)

**9:00~11:45 ポスター・セッション** (太刀川記念館3階多目的ホール) 【対面のみ】  
(詳細は別資料「ポスター・セッション報告要旨」参照)

(11:45-13:00 昼休み)

**13:00-16:45 シンポジウム** (9号館大教室) 【オンライン配信あり】

**危機を前にした人間—西洋中世における環境・災害・心性**

コーディネーター：小澤実 (立教大学)

(別資料「シンポジウム報告要旨」参照)

13:00～13:10 趣旨説明 小澤実

13:10～13:50 総論

Johannes Preiser-Kapeller (Austrian Academy of Sciences)

紀元千年のグローバルな危機?—比較観点による10-11世紀のアフロ・ユーラシアにおける気候変動、天体现象、社会的・政治的動乱—\*

13:50～14:20 唐澤一友 (立教大学)

アングロ・サクソン時代の危機管理—古英語の wisdom poetry を手掛かりに—

14:20～14:50 後藤里菜 (川村学園女子大学)

女性と〈身体〉という危機—12世紀の敬虔な女性、マークヤーテのクリスティーナ (1096頃-1155頃) を題材に—

**(14:50～15:00 休憩)**

15:00～15:30 アダム・タカハシ (東洋大学)

政治的危機と神的秩序：アウグスティヌス、アキナス、ウィクリフ

15:30～16:00 今井澄子 (大阪大谷大学)

疫病と美術—14・15世紀フランスとネーデルラントの物語表現を中心に—

16:00～16:15 コメント：諫早庸一 (北海道大学スラブユーラシア研究センター)

16:15～16:45 全体討論

\* Preiser-Kapeller 博士の講演 (録画) は英語 (原稿配布予定)、他は日本語。

※コロナ感染状況の変化、国・東京都あるいは会場校のポリシーの変化により直前にオンラインのみでの開催に変更される可能性も排除できない点、ご理解ください。開催形態変更の場合は、参加申し込みされた方にはメールでお知らせします。